

全体事業

No.	日 時 ・ 場 所	内 容
1	5月28日(日) 10月22日(日) 各 行 政 区	★ ごみゼロ運動 「きれいな千代田のまち」を目指して、 地区内全域の道路・水路・公園及び家庭 周辺を中心に、ごみ拾いを行いました。
2	7月	★ 井堀グランドゴルフ交歓会(協賛事業) ※(中止)
3	8月5日(土)	★ 千代田夏まつり 名称を「盆おどり大会」から「千代田夏 まつり」に変更し、従来の盆踊りや歌謡シ ョー、バザーなどに加え、キッチンカーが 来場し、多くの方に参加いただきました。 * 共催3団体 千代田地区区長協議会・千代田地区体育 振興会・千代田地区老人クラブ連合会 * 後援10団体 千代田ソフトボール愛好会・千代田スポ ーツ少年団・坂田スポーツ少年団・千代 田中学校PTA・千代田小学校PTA・ 坂田小学校PTA・千代田小学校区子ど も会連絡協議会・坂田小学校区子供会・ 実行組合・農協女性部

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。

No.	日 時 ・ 場 所	内 容
		<p>* 催し物</p> <p>盆踊り・バザー・売店・ふれあい抽選会・キッチンカー・歌謡ショー</p> <p>* 参加延べ人数 約1,600人</p>
4	8月	<p>★ 田代自治会納涼盆踊り大会（協賛事業）</p> <p>※（中止）</p>
5	8月	<p>★ 千代田ひまわり畑</p> <p>千代田地区の各関係者や中学生に協力頂き実施し、8月には華麗な花を咲かせました。</p>
6	1月1日（月） 各 行 政 区	<p>★ まちづくり広報紙第39号</p> <p>千代田の各種団体の協力を得て、機関紙『ふれあい千代田』を発行し、全戸に配布しました。 2,572部</p>
7	通 年	<p>★ 千代田あいさつ運動</p> <p>子どもも、大人も、お年寄りもみんなが関わり合い、支え合う地域を目指し、「あいさつ運動」を実施しました。</p> <p>のぼり旗やたすきなどの啓発品を希望団体に貸与しました。</p>

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。

青少年育成部会

No.	日 時 ・ 場 所	内 容
1	7月 1日 (土) 名古屋文理大学文化 フォーラム (市民会 館) 中ホール	★ 青少年健全市民育成市民大会への参加 教育委員会の主催による「笑顔であいさつ家 族と地域の絆」をテーマに明治中学校と稲沢東 高等学校の生徒による事例発表及び「大人から 見える現代の不思議な子どもたち」をテーマと した講演会に出席しました。
2	8月 24日 (木) 千代田公民館	★ 社会体験 千代田小・坂田小の六年生を対象に、愛知 教育大学の学生さんによる「訪問科学実験わく わく」を開催しました。 * 参加者 児童 41人 保護者 11人
3	10月 2日 (月) 千代田公民館	★ 防犯・青少年健全育成懇談会 最近の犯罪発生状況や侵入盗・特殊詐欺など、 稲沢警察署の生活安全課係長さん・駐在さんの 話を聞き、犯罪対策や心構えについて、地域の 問題として考えました。 * 参加者 46人
4	11月 27日 (月) 坂田小学校	★ 教育講演会 劇団「うりんこ」を招き、演劇「くもばんば とぎんのくつした」を鑑賞しました。 * 参加者 386人

市民活動部会

No.	日 時 ・ 場 所	内 容
1	10月8日(日) 千代田小学校 グラウンド	★ 住民体育祭(協賛事業) 行政区対抗リレーなどの白熱した競技が展開され、応援の歓声も高らかに熱戦が繰り広げられ、行政区・家族で楽しみました。 * 参加チーム数 18チーム
2	11月9日(木)	★ 高齢者福祉事業(給食サービス) ※(中止)
3	1月下旬 千代田区内	★ 福祉慰問事業 地区の民生児童委員を通じて、寝たきり老人の介護者及び一人暮らしの高齢者を対象に福祉慰問を行いました。 * 対象者 220人
4	2月27日(火) 3月4日(月)	★ ねんりん(老人)クラブスポーツ大会 (協賛事業) ゲートボール大会・グラウンドゴルフ大会 歩け歩け大会

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。

農業振興部会

No.	日 時 ・ 場 所	内 容
1	12月 3日 (日) 千代田公民館	<p>★ フラワーアレンジメント講習会</p> <p>今年度は、トピアリーを作成し、色とりどりの素敵な作品が完成しました。</p> <p>* 参加者 43人</p>
2	2月 20日 (火) 21日 (水)	<p>★ 先進地視察 (協賛事業)</p> <p>静岡県の鈴木農園では、米、レタス、スイートコーンの3作目を組み合わせた水田の周年作付け体系を構築し、安定した雇用の実現を可能にしていました。</p> <p>豊川市の花幸では、お花に興味を持ってもらうために、サブスクリプションを活用し、顧客の好きなタイミングで花を交換できる体験コースがあり、夜間は自動販売機でサブスクリプション用の花瓶を販売するなど独自のやり方を実践していました。</p> <p>また、今回の視察により資金繰りの有効性や地域社会との関係構築の重要性を確認できました。</p>